

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課	■担当係	農林企画係
■評価事業名称	北上市産地直売所魅力アップ事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	050100 - 058	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	03 地産地消の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	産直を魅力ある施設にすることで、お母さんを元気にし、農業と地域の活性化を図るもの。産地直売所を核とした農業経営を促進し、産直を魅力ある施設にする取り組みを支援するため、北上市産地直売所連絡協議会の事務局事務を行う。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
	北上市産地直売所魅力アップ事業	産地直売所を運営する団体等		○視察研修(6/27陸前高田市:参加31人)○産直スタンプラリーの実施(8/20~10/21、利用店舗数に応じクーポン券を計121枚贈呈)○講演会及び昼食会(11/26:参加49人)○首都圏PR事業(10/20~21、江東区民まつりでりんごを中心とした農産物をPR)○産直レベルアップ研修(7/23:参加19人、2/21:参加33人)○会議開催:5回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	44	20	14	13	
人件費	3,947	3,553	4,273	3,996	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,991	3,573	4,287	4,009	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	会議回数				5回	

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

所属産直の売上が年々増加傾向にある。産直スタンプラリーの参加人数も増加傾向にあり、産直協議会としての事を継続していくべきだと感じる。

問題点・課題等

イベント出店の産直が固定化されていること。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

規模の大きい産直と小さい産直で、参加できるイベントなどに差が生まれるので、規模の小さいイベントにも参加するなどの対策が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了